

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	住吉区
学 校 名	大阪市立住吉小学校
学校長名	生嶋 雅人

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・住吉小学校では、第6学年 47名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校では国語、算数、理科共に大阪市平均、全国平均を下回る結果となった。さらには平均無回答率の割合も高く、大阪市平均、全国平均を上回っていることから、基礎・基本の定着が十分ではなく、学習に向かう意欲の向上が課題だと考えられる。

児童質問紙では、「自分にはよいところがあると思いますか」「人が困っているとき、進んで助けますか」の項目では、肯定的回答がいずれも大阪市、全国平均を上回り、90%を超える結果となっていることから、自己肯定感が高く、情に厚い児童が多くいる。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

本校の国語の平均正答率は56%で、大阪市平均よりも9ポイント下回る結果となった。特に、条件に合わせて記述式で解答する設問では大阪市平均との差が大きく、条件を読み取り、表現することに課題がみられる。一方で、昨年度の無回答率は8.7%であったが、今年度は4.2%と、以前大阪市平均と比べると高いものの、学習に向き合う姿勢には改善がみられる。

### 〔算数〕

本校の算数の平均正答率は51%で、大阪市平均よりも7ポイント下回る結果となった。どの領域においても問題文の情報量が多いと誤答する割合が増える傾向がみられ、問題文を読み取り、意味を理解することに課題がみられる。図形領域では大阪市平均を上回る設問もあり、基礎・基本の一定の定着はみられる。

### 〔理科〕

本校の算数の平均正答率は49%で、大阪市平均よりも6ポイント下回る結果となった。「エネルギー」「粒子」柱とする領域において、実験から推測される結果等についての知識・想像力に課題がみられる傾向がある。

質問調査より

「自分にはよいところがある」と肯定的に回答する児童の割合が大阪市・全国に比べても高く、自己肯定感の高さが窺えるが、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問では肯定的回答が71.4%と、大阪市、全国と比べても低く、目標が持ちにくい児童が一定数いることから、キャリア教育の充実を図ることが必要である。

ここ数年の生成AIの取組により、「PC・タブレットなどのICT機器の活用」の質問では、ほぼ毎日活用している回答が大阪市、全国を大きく上回っており、取組を通じたICT機器の活用の定着が図られている。

## 今後の取組(アクションプラン)

児童質問における「自分で学び方を考え、工夫している」の質問での肯定的回答は大阪市、全国を上回っている。しかし、各教科における無回答率の高さを考慮すると、学びに向かう意欲・姿勢の低い児童が一定数いることから、自分の学習進度に応じた「自由進度学習」に取り組み、基礎・基本のさらなる定着を目指し、学びに向かう姿勢の向上を図る必要である。

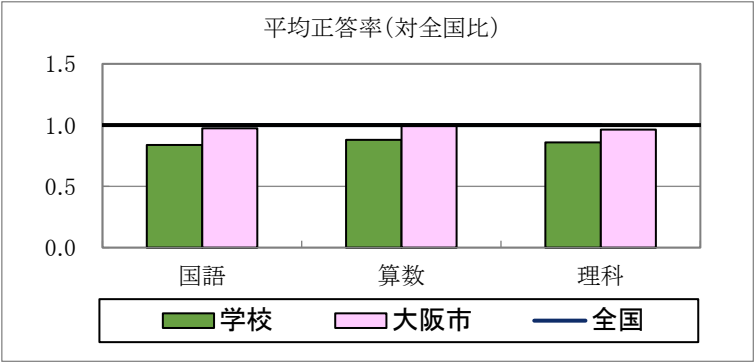
また、どの教科においても問題文を正しく読み取り、理解することに課題がみられることから、読書活動の充実や、生成AIを活用して児童に思考の支援をができるような学習を進めていく必要がある。

さらに、自分の思考を表現することが苦手な児童がみられることから、こちらも生成AIを活用して児童が自分の考えを言語化する支援をする必要がある。

【 全体の概要 】

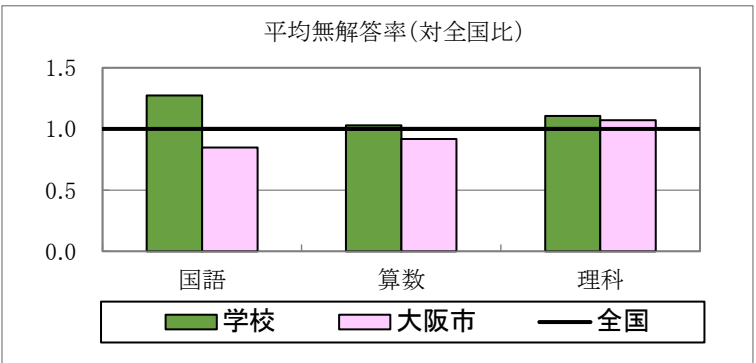
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	56	51	49
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



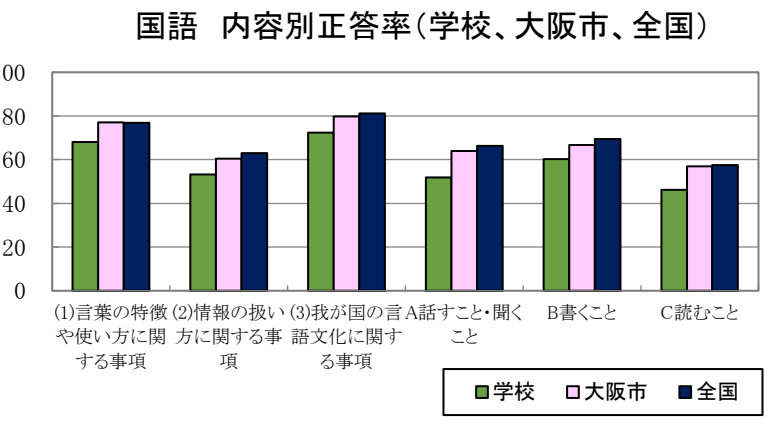
平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	4.2	3.7	3.1
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



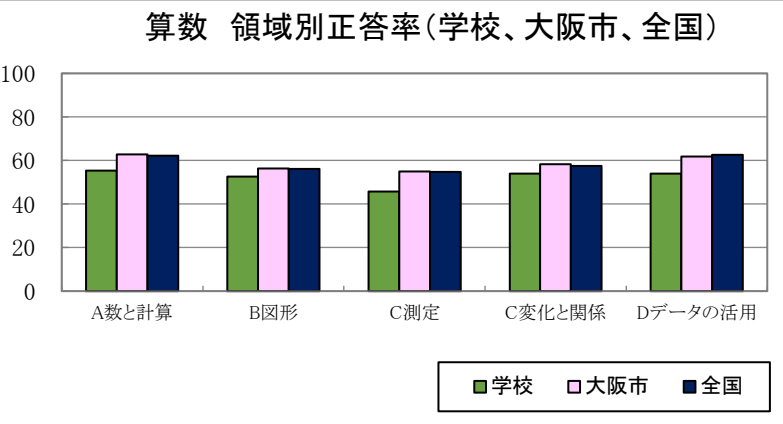
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	68.1	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	53.2	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	72.3	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	51.8	64.0	66.3
B 書くこと	3	60.3	66.7	69.5
C 読むこと	4	46.3	56.9	57.5

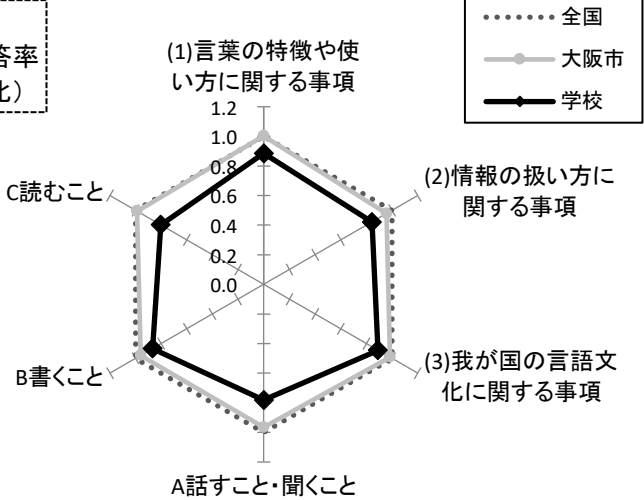


【 算 数 】

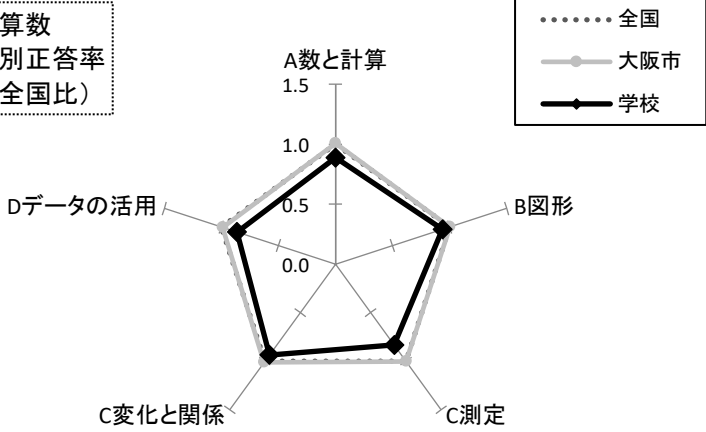
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	55.3	62.7	62.3
B 図形	4	52.7	56.4	56.2
C 測定	2	45.7	54.9	54.8
C 変化と関係	3	53.9	58.2	57.5
D データの活用	5	54.0	61.9	62.6



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

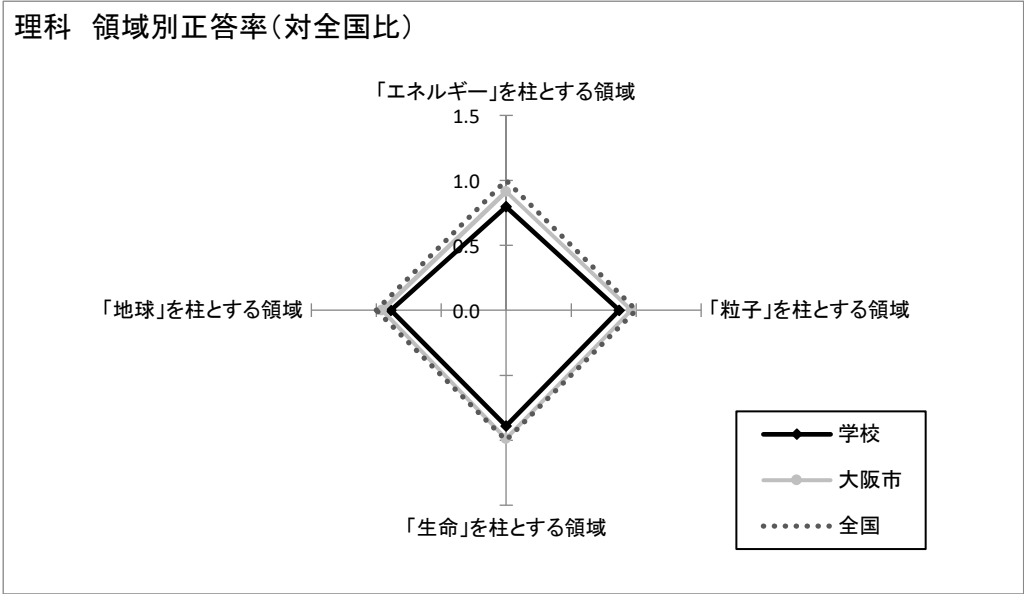
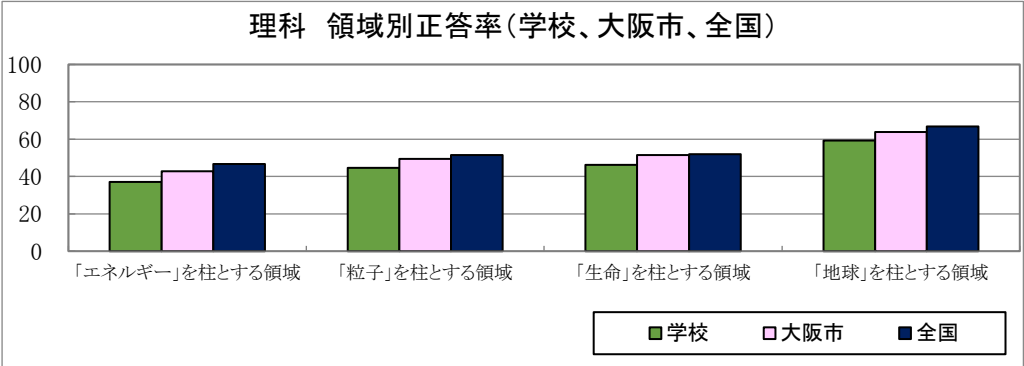


算数  
領域別正答率  
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	37.2	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	44.7	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	46.3	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	59.2	63.8	66.7



児童質問より

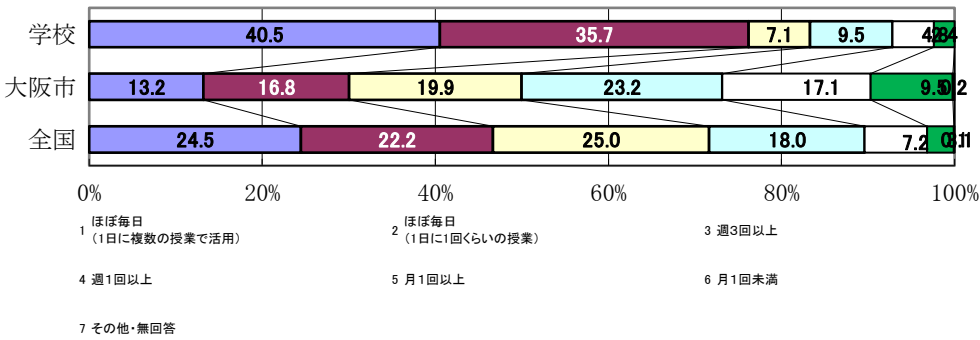
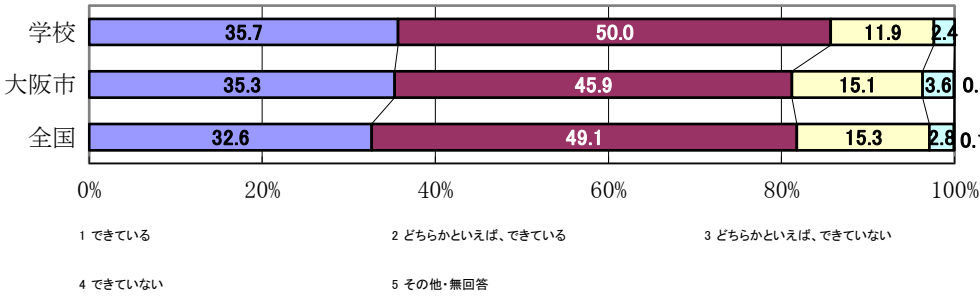
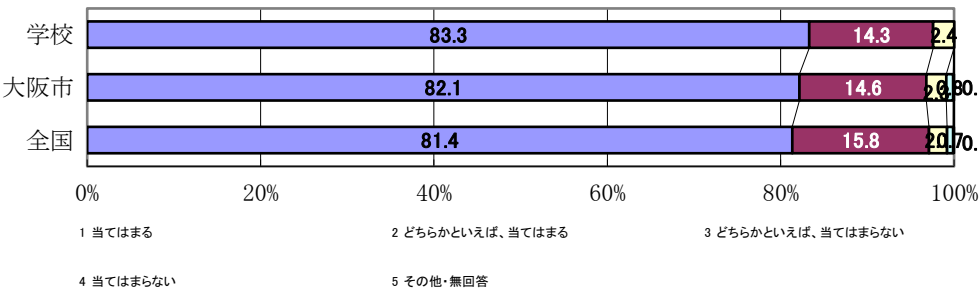
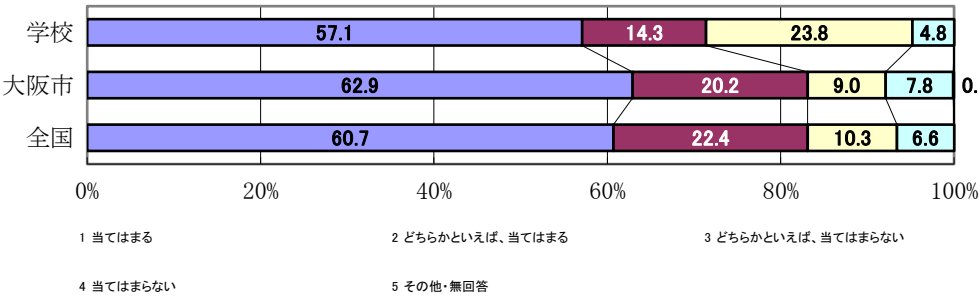
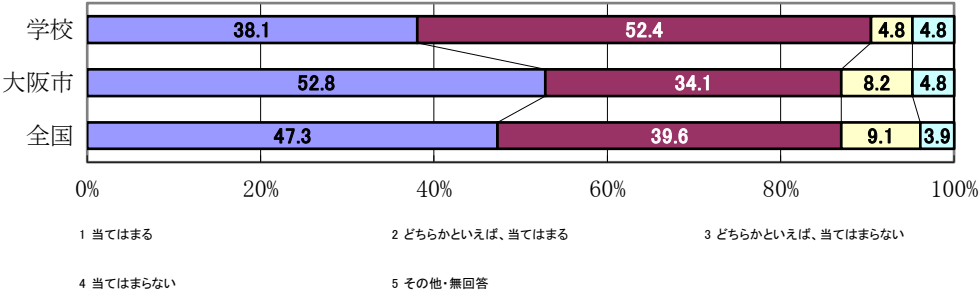
質問番号
質問事項
5
自分には、よいところがあると思いますか

7
将来の夢や目標を持っていますか

9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

16
分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

28
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



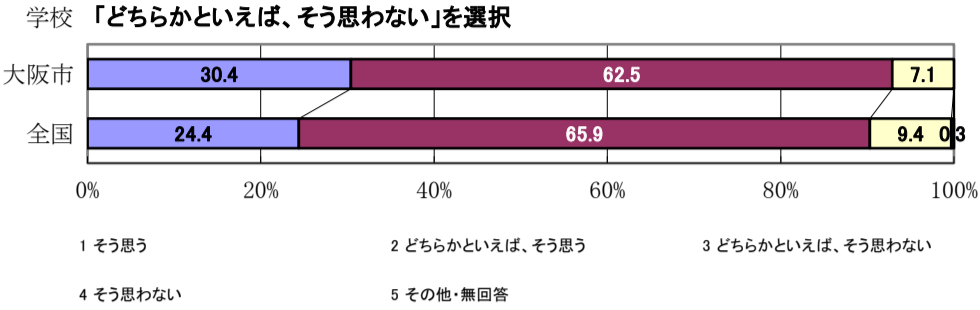
学校質問より



質問番号  
質問事項

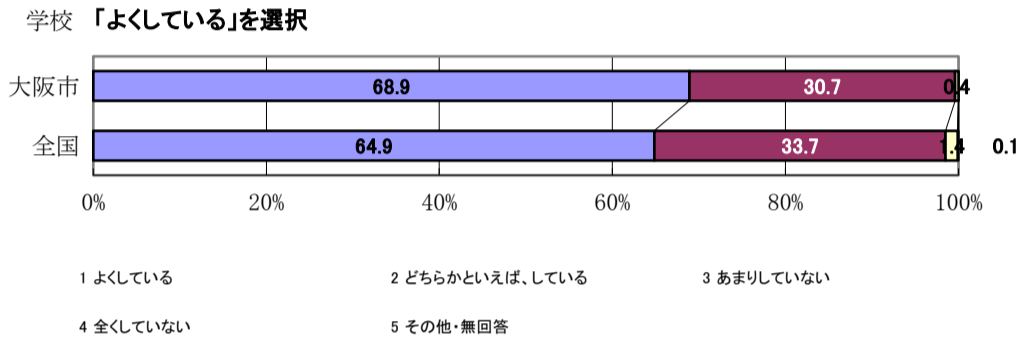
7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか



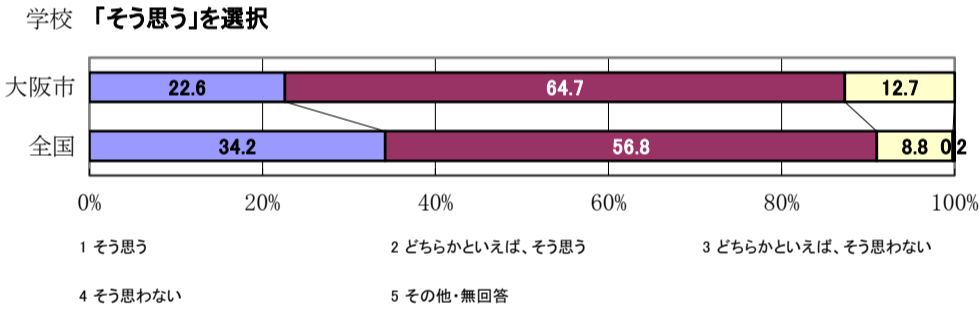
18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか



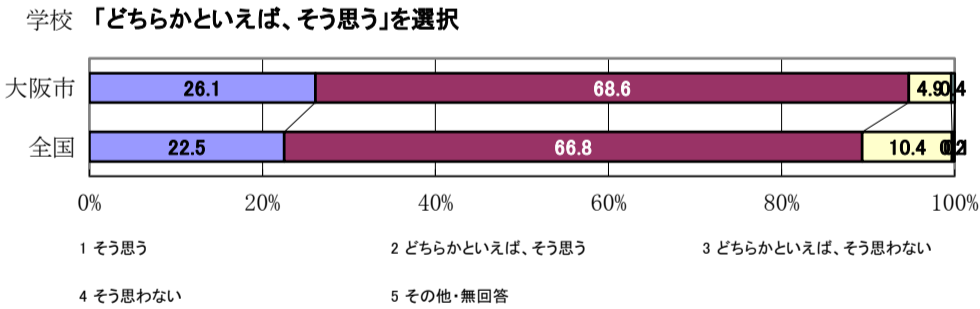
22

今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

